

聖書
テーマ
暗唱聖句

士師6・7～16
ギデオンの召命
力ある勇士よ、【主】があなた
とともにおられる。

士師6・12
目 標
どんな人をも働きに用いよう
としてくださる神の招きにお応
えする。

10月1日（日）

聖書
聖句

士師6・12
力ある勇士よ、【主】があなたと
もにおられる。 12節

イスラエルの人たちは神様に従わず、悪いこ
とをしたので、七年間ミディアン人に苦しめら
れていました。食べものや家畜、居場所もなくな
り、どうにかしたいけどどうにもできない！

こんなとき、あなたならどうしますか？

今も、神様を信じず、従わない人はたくさ
んいます。その中には苦しい思いをして「神様
助けて！」と心で叫んでいる人もいます。
あなたにはなにもできないと思いますか？ い
いえ、神様は「力ある勇士よ」とあなたを呼び、
えらび、あなたにしかできないお仕事をくださ
るのです。

祈り
天のお父様、この世界の中で、あなたを
信じるわたしたちを「力ある勇士」に
して下さりありがとうございます。

10月2日（月）

聖書
聖句

士師6・7～10
ところが、あなたがたはわたしの声
に聞き従わなかった。 10節

イスラエルの人が奴隷のとき、エジプトから
救い出してくれたのは神様！ だから神様を信
じ、従うのは当たり前だね！ でも、イスラエ
ルは「わたし以外に、ほかの神があつてはなら
ない」という神様の命令をわすれ、本当の神様
でなく、ほかの国の偶像を拝んでいました。そ
して、苦しくてどうしようもなくなったときに
ようやく「神様！」と叫んだのです。

神様はどんな罪深い人の叫びや祈りでも聞
いてくださいます。でも、なにかあつてからで
はなく、いつでも神様に祈り、神様を信じ続け
るあなたでいてくださいね！

祈り
天のお父様、こまったときだけでなく、
どんなときでもあなたを信じて祈って
いきます。

10月3日（火）

聖書
聖句

士師6・11
ヨアシュの子ギデオンは、ぶどうの
踏み場で小麦を打っていた。 11節

神様は、イスラエルをミディアン人から助け
るために、ギデオンをえらびました。神様のお
仕事をするんだからりっぱですごく強い人？

いえ、ギデオンはただの農民で、ぶどう酒を
つくるための穴にかくれて小麦を打っていた
のだから弱いところもあるし、普通の人でした。

あなたも、毎日普通に生きているし、怖いこ
とがあれば逃げることもあるでしょう？ でも、
神様があなたをえらんだ瞬間、あなたは神様
の言葉に従うその瞬間、あなたは勇士！
神様の力があれば恐れなくていいんです！

祈り
天のお父様、普通の私もあなたの勇士
であることをありがとうございます。

10月4日(水)

聖書
聖句

士師6・13

もし【主】が私たちとともにおられるなら、なぜこれらすべてのことが、私たちに起こったのですか。 13節

悪いことが起きると、人間は「神様がいるならこんなことはしないはずだ!」と怒ります。でも、よくよく考えてみたら本当は人間にこそ原因があると気づくはず! ギデオンも、イスラエルがミディアン人に苦しめられた原因は、神様に罪を犯したからだということがまだわかっていませんでした。そして、ギデオンは神様に「どうしてですか?」と真剣に聞いたよ。こうして本気で祈りし、神様に近づける人は、神様から答えをもらえるだけでなく、神様に用いられやすい人に造り変えられるよ。

いの 祈り 天のお父様、悪いことがあったら、わたしちに罪がないか、心からお祈りし、み言葉を聞く子どもにしてください。

10月5日(木)

聖書
聖句

士師6・14

行け、あなたのその力で。あなたはイスラエルをミディアン人の手から救うのだ。 14節

神様はギデオンに、「100人分、1000人分の力を出しなさい!」って言ったわけではなく「あなたは、あなたの今持っている力があればいいんだよ」と言ったの。足りない分は神様が力を足してくれるからだいじょうぶ!

そして、神様は「あなたはあなたのそのままでもいい! 私があなたと一緒にいるから! 私があなたをういたいから!」と言われます。あなたが、どんなに小さな力でも神様のためにささげるなら、神様は喜んであなたのすることを何倍にも祝福してくださいます!

いの 祈り 天のお父様、弱く、小さな力しかありませんが、わたしをささげます。あなたのために祝福してお使ください。

10月6日(金)

聖書
聖句

士師6・15

私の氏族はマナセの中で最も弱く、そして私は父の家で一番若いのです。 15節

「勇気があるとは、恐れなことではなく、恐れに勝つことだ」と聞いたことがあります。ギデオンは神様に選ばれたとき、素直に従えませんでした。人と自分をくらべて、自分の弱さだけを思っていました。恐れていたのです。神様に選ばれているあなたは、神様に「はい」と言って従っていますか? 人と自分をくらべて「自分はだめ!」と恐れていませんか? 一歩前にふみだす力をくださり、恐れに勝たせてくださるのは神様ですよ! 弱い自分ばかり見つめないで! あなたは神様のものです!

いの 祈り 天のお父様、人と自分をくらべてくよくよせず、あなただけを信じて生きます。わたしは神様のものです!

10月7日(土)

聖書
聖句

ピリピ4・13

私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。 13節

ギデオンのずーっと後の時代。イエス様のことを伝えたパウロは、捕まり、鞭で打たれ、牢屋の中、すごく苦しいのに「どんな苦しみものりこえられる!」って言ったの。パウロの心の中には、あの、十字架で人の罪を背負われたイエス様、だけど、悪魔にも死にも勝った本当の勇士イエス様がいたんだね!

あなたの心の中にも、イエス様がいてくれるなら、パウロのような信仰の勇士になって、辛いこと、苦しいことものりこえられるし、悪魔や死にも勝つことができるよ!

いの 祈り 天のお父様、イエス様をありがとうございます。わたしは信仰の勇士です。イエス様によって悪魔や死にも勝ちます!



聖書
テーマ
暗唱聖句

士師16・4～6、15～22
サムソン
私は母の胎にいたときから神に
ささげられたナジル人だからだ。

目標

士師16・17
罪から聖別されて、力強い信仰者生涯を送る。

10月8日(日)

聖書
聖句

士師16・17
私は母の胎にいたときから神に
ささげられたナジル人だからだ。 17節

イスラエルを苦しめるペリシテに、怪力
パワーで立ち向かったサムソンのおはなし！
怪力の秘密はね、サムソンの髪の毛！ えっ？
「ナジル人」はね、神様のただけに働くよう
に特別にささげられた人のこと。心も体もま
るごとく神様のもの！ そのしるしに、髪を切ら
ず、お酒ものまず、死体にもさわらないって。
特にサムソンは、髪の毛に神様の大きな力を
もらっていたみたい。

それは、神様のために力のいるお仕事をする
ためなんだけど、サムソンは失敗したみたい！
あなたは、神様からももらった力や能力をど
う使いますか？ 使い方、間違っていないですか？

祈り

天のお父様、あなたからももらった力や
能力を正しく使えますように。

10月9日(月)

聖書
聖句

士師16・4
サムソンは、ソレクの谷にいる女
を愛した。 4節

あるとき、サムソンはデリラを好きになりま
した。どんな人かも、あとでサムソンを危険な
目にあわせる人とも知らずに！

あなたには、好きな人や事があるかな？
「好き」という気持ちはだれにでも起きます。
でも、その気持ちは、人の心を正しく考えら
れなくしてしまうことがあるんだ。どんなに好
きな人や事でも、神様ならどう思われ、教えて
おられるかをいつも心におぼえ、あなたを見
ている神様の目をいちばん気にしていないと、
あなたもやがてサムソンのようにしっばいし
てしまうのです。

祈り

天のお父様、どんな好きな人や事があ
ってもあなたの目を一番気にしていけま
すように。あなたに従えますように。

10月10日(火)

聖書
聖句

士師16・5～6
私たちは一人ひとり、あなたに銀
千百枚をあげよう。 5節

怪力サムソンを殺そうと考えるペリシテび
とは沢山！そこでペリシテびとは、デリラにサ
ムソンの力の秘密を調べるように言いました。
普通、恋人の秘密をかんたんにバラす？ と
ころが、デリラはお金の誘惑にはとっても弱
かったの。お金があればかんたんにサムソンを
捨てられるし、お金のためなら必死になってサ
ムソンの力の秘密を聞きだす人でした。

悪魔は、人がどんな誘惑に弱いかわく知って
いて、神様に従えなくするのが得意です。
あなたは、悪魔の誘惑に負けて神様が悲しむ
ことをしていませんか？ 神様の喜ばれる道を
歩いていますか？

祈り

天のお父様、誘惑に負けてデリラのよう
な罪を犯さないようお守りください。

10月11日(水)

聖書
聖句

士師16・15~17

毎日彼女が同じことばでしきりに
せがみ、責め立てたので、彼は死ぬ
ほど辛かった。 16節

サムソンにとって、髪の毛を失うことは、
神様のナジル人であるという約束を捨てるこ
と！だから、髪の毛の秘密を話すのは、神様に
従って生きるのをやめると同じことです。

それをわかっているのにデリラが大好きで、
秘密を話してしまおうか悩んでいました。

罪の世界もおなじ。とても魅力的で、誘惑が
上手で、説得力があって、しつこい！罪の
世界に従う方が神様に従う世界よりも大切
なんじゃないかと思わせます。でも、神様に従
う人は決してそれに負けてはいけません。

祈り

天のお父様、どんなに罪の世界の誘惑が
魅力的でしつこくても負けません！あ
なたに従うことをやめません！

10月12日(木)

聖書
聖句

士師16・17~19

彼の力は彼を離れた。 19節

とうとうサムソンはデリラの誘惑に負け、
自分の力の秘密を話してしまいました。デリ
ラはサムソンが寝ている間にペリシテびとを
呼んだので、彼らはサムソンの髪の毛をそり落
としました。その瞬間、神様からもらった怪力
は消えていたのです。

心のどこかで、その力を自由に使っていていい
と思ったり、だれも見えていないから少しくらい
は悪いことに使っても平気だと思っていたの
かもしれません。

あなたはどうか？ あなたの命や、あな
たの力は自分のもの、自分が好きに使ってい
いものだと思いませんか？ それは神様が
くださったものです。

祈り

天のお父様、自分の命や力はあなたか
らのものであることを感謝します。

10月13日(金)

聖書
聖句

士師16・20~21

彼は、【主】が自分から離れられた
ことを知らなかった。 20節

神様のナジル人である約束のしるし、髪の毛
がなくなった時、いつも一緒にいて力をくれ
た神様も、知らない間に離れてしまいました。

サムソンは普通の人ようになったのでペ
リシテびとに捕まり、ひどい目にありました。

そのあとやっと、なんのためにナジル人にさ
れたのか思いだし、反省したでしょうね。

いくら神様を信じていると口では言っても、
自分を偉いと思う心、平気で罪を犯す心があ
るなら、神様はその人といっしょにいることは
できません。神様がいっしょにいられるのは、
罪を悔い改めた心、へりくだった心を持つ
人だということを忘れないでね。

祈り

天のお父様、いつも悔い改めた心、へ
りくだりの心ですごせますように。

10月14日(土)

聖書
聖句

士師16・22

サムソンの髪の毛は、剃り落とされ
てからまた伸び始めた。 22節

神様は、罪を犯したサムソンを見捨てません
でした。自分勝手ばかりして神様を悲しませた
サムソンだったけれど、自分がナジル人だった
こと、力は神様のものだとわかったのです。そ
して、心からお祈りしたサムソンに、神様はペ
リシテびとをたおす大きな力をもう一度あた
えたのです。

神様は、罪はおきらいになります。心から
悔い改める人を決して見捨てず、また立ち上
がらせてくださいます。イエス様の十字架を感謝
し、神様の愛と憐みに応えて生きていこう！

祈り

天のお父様、失敗しやすい私ですが、悔
い改めるときにもう一度立ち上がる
ようにしてくださる愛と憐みに感謝し
て生きます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 7・24～27

岩を土台とする生涯

わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にとえることができます。

マタイ 7・24

目標

みことばを聞いて行う、堅固な生き方をする。

10月15日（日）

聖書
聖句

マタイ 7・24～27

わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人にとえることができます。 24節

1995年1月17日には、阪神淡路大震災、2011年3月11日には、東日本大震災と津波。つらく悲しい出来事でした。その時、建物の土台の大切さが注目されたのでした。イエス様は山の上でのお話の終りに、この「土台」の事を話されました。それは私たちの人生の大切な土台についてです。砂の上に建てるのはラクチン。でも雨や風や洪水がくるとパッションコです。岩の上は建てにくいけど堅固！ みことばを聞いて行う生き方を選ぼう。

いの祈り

天のお父様、天地が滅びてもあなたのことは滅びません。そのみことばを聞き、信じ、従って歩く一生としてください。

10月16日（月）

聖書
聖句

マタイ 7・24～25

岩の上に土台が据えられていたからです。 25節

イエス様の山の上でのお話の心ひきしまるしめくりです。みことばを耳から聞いて、心にしっかりとどめて、それを実行することが大切なのですね。そういう人は、ちょうど自分の家を、堅い岩の上に建てた賢い人のようだと言われます。雨が降る、涙をたくさん流すような悲しいできごとが起っても、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつける、困ったことや苦しいこと、試練がやってきても倒れません。みことばを握って行っているからです。

いの祈り

天のお父様、あなたのみことばを聞いて行うことが、どれほど力強く生きる力になるのか、よくわかりました。

10月17日（火）

聖書
聖句

マタイ 7・26～27

しかもその倒れ方はひどいものでした。 27節

「わたしのこれらのことばを聞いて、それを行わない者」とは、反対に、やわらかい、すぐに建てられる砂の上に自分の家を建てた愚かな人のようだとイエス様は言われます。砂の上に建てられた家は、雨や洪水や風がやって来るとすぐにも倒れてしまいます。しかも、その倒れ方はひどいとありますから大変です！ 私たちも、みことばを聞いても全然気にもとめず、心にもとめず、その通り行いもしなかったら、苦しい時困った時ダメになってしまうのです。

いの祈り

天のお父様、いろいろなことが起こる人生です。あなたのみことばを行って、どんな時も大丈夫な人生を送れますように。

10月18日(水)



マタイ 24・32～39

天地は消え去ります。しかし、わたしのことは決して消え去ることがありません。 35節

この世界はだんだんと滅びに向かっているのです。なぜならイエス様が再び来られる時が近づいているからです。イエス様が再臨される時、今、私たちがいるすべての天体は燃えくずれる、つまり滅びると聖書に書かれています(Ⅱペテロ 3・10)。大変です！けれどもその中で滅びないものがあります。それが「わたしのことば」つまり、「イエス様のことば」、「みことば」です。絶対に滅びないのが「みことば」なのです。ますます聞いて行っていきましょう。

いのちの祈り 天のお父様、尊い命のみことば、滅びないみことばを聞くことができ、幸せです。これからもみことばを行います。

10月19日(木)



ヤコブ 1・19～22

みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。 21節

あなたは先生の言われることや、お父さん、お母さん、お友だちの言うことをよく聞く子どもですか？ それとも聞くより、しゃべりまくる子ども？ 口はひとつ、耳はふたつ。よく聞きましょう。特に、みことばをよくよく聞いてすなおに受け入れましょと、再びヤコブさん登場です。みことばだけが私たちの心を照らしてくれて、罪をわからせてくれます。そして、イエス様の十字架による救いへと導いてくれます。たましいが救われることが重大なのです。

いのちの祈り 天のお父様、まわりにはいろんなことばがあふれていますが、たましいを救う力のあるみことばを慕い求めたいです。

10月20日(金)



ヤコブ 1・23～24

みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。 23節

「アレッ!? ボクの顔に、なんかお習字の墨がついてる？」と、自分の顔を鏡で見ても、そこからどこかへ行くともうすっかり忘れて、顔を洗ったり、ふいたりもしないなら、どこか、おかしいですね。みことばを聞くだけで、そのみことばのとおりに行わない人は、ちょうどそんな人ですよとヤコブさんは言っています。みことばにはたましいを救う偉大な力があり、私たちを教え、さとし、戒め、正しく歩めるようにしてくれる力もあるのです。みことばを行おう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみことばは、ちょうど心を照らす鏡のようです。みことばに従って、あなたの子どもらしく歩ませてください。

10月21日(土)

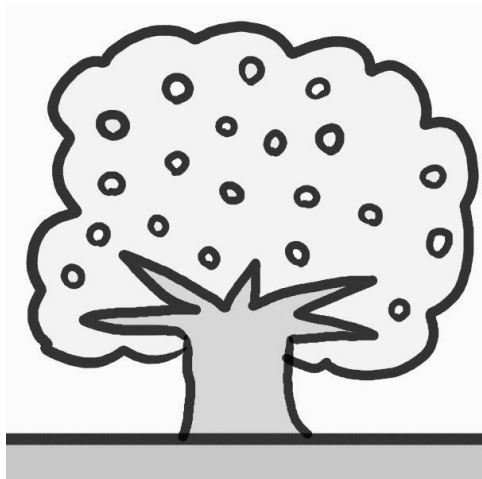


ヤコブ 1・25

こういう人は、その行いによって祝福されます。 25節

この世の中に、絶対にまちがいのない完全な教えなんて、本当にあるのかなあとおもいますか？ あるのです。それが「聖書のみことば」です。ヤコブさんはここには、「自由をもたらす完全な律法」と書いています。それを「一心に見つめて、それから離れない人」は、聞いて忘れてしまう人でなく、実際に行う人だとね。心を集中して、みことばを見つめ、暗記し、暗唱し、その通りに実行する子どもになりたいね。すると神様が私たちの行いを喜んでくださって祝福してくださるのです。

いのちの祈り 天のお父様、毎日、何かひとつのみことばを心にしまつて、一日中思い出し、行っていくことができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 13・1～9、18～23

四つの種
別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。

マタイ 13・8

目標

み言葉を聞いて悟り、忍耐深く守って、実を結ぶ者となる。

10月22日（日）

聖書
聖句

マタイ 13・9

別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。 8節

なにか植物を育てたことはある？ それがやがて立派に育つと、とてもうれしいよね！
神様も、あなたの心に「み言葉」という種を植えてくださっています。そして、その種が育つことをどんなにか楽しみにしていてくださるでしょう。

心の種はどうすれば立派に育って、たくさんの実がなるの？ それは、「心」を「良い地」にすること。神様のお言葉をすなおに聞いてうけ入れ、信じ、そのとおりに行いうんだね！

いのちの祈り

天のお父様、み言葉を聞き、信じ、行えるすなおな心をください。

10月23日（月）

聖書
聖句

マタイ 13・4、19

だれでも御国のことばを聞いて悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪います。

19節

教会楽しい！ 大好き！ でも、お話のときはどうかな？！ せっかくお話を聞いたのに、なんにも心に残っていないなんてことはない？

悪魔はいつも、神様を信じようとする心を邪魔したり、うばおうとするよ。どうしよう！

神様のみ言葉の種をちゃんと心に植えることができるように、お祈りして心の準備をしようね。そして、心の耳で、お話を聞こうね。

いのちの祈り

天のお父様、悪魔にまけない強い心をください。邪魔されないで、心の耳でしっかりあなたの言葉を聞けますように。

10月24日（火）

聖書
聖句

マタイ 13・5～6、20～21

みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。 21節

神様のこと、イエス様のこと信じてるよ！でも、学校でいじめられたり、いやなことやつらいことがあったらもう信じないかも…なんて思っている人はいませんか？

たいせつなのは、神様からのみ言葉の種を心のおく深いところに植えていないといけないうこと。そうでないと、かんたんに信じることをあきらめてしまうのです。

神様を信じることをあきらめないで、信じてづけるあなたでいてくださいね。

いのちの祈り

天のお父様、ただ信じるのでなく信じてづける心をください。つらいとき、み言葉を投げ出さない心をください。

10月25日（水）



マタイ 13・7、22

茨の中に蒔かれたものとは、みことばを聞くが、この世の思い煩いと富の誘惑がみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。 22節

テレビを見たり、お友だちとあそんだり、ならいごとや自分のやりたいことのほうが、神様の言葉を聞くことよりもたいせつになっていませんか？

せっかく神様を信じていても、神様の声を聞くことを忘れたら、せっかく心に植えてもらった種にお世話をしないのとおなじです。

一週間のいちばんはじめに、まず神様を礼拝しよう！心の種を育ててもらうんだよ！

いのちの祈り

天のお父様、なにかを始める前に、み言葉を聞くことをいちばんにできますように。教会学校も大切にできますように。

10月26日（木）



マタイ 13・9

耳のある者は聞きなさい。 9節

神様のみ言葉があなたの心の中で芽を出し、やがてたくさんの実を実らせるために、イエス様は「聞く」ことのたいせつさを教えてくださいましたよ。

イエス様の言う「聞く」という言葉は、「聞こえる」ってだけでなく、心から聞いたことを理解し、毎日の生活の中で行う、ということなんだ。

毎日きくと色んなことがあるでしょうね。楽しいこと、うれしいこと、つらかったりなやむこと。そのたびに、神様のみ言葉に「聞いて」みてください。毎日を神様といっしょにすごしてこうね。

いのちの祈り

天のお父様、毎日の生活の中で、ただ聞くのではなく、聞いたことを行えますように。

10月27日（金）



I コリント 3・6

成長させたのは神です。 6節

あなたが神様のお話を聞くととき、お話をする先生は、どんな気持ちで神様のことをお話しているか知っていますか？

それはね、みんなの心を、神様ご自身が育ててくださるように信じてお祈りし、話しているのです。

わたしたちを育てられるのは、人間ではなく、神様だということを知っているからです。

どうか、神様がいろいろなことの中で、あなたの心に植えられたみ言葉の種を育ててくださることを体験してくださいね！

いのちの祈り

天のお父様、本当に人間を育てられる方はあなただけです。あなたが成長させてくださることを体験できますように。

10月28日（土）



マタイ 13・31～32

天の御国はからし種に似ています。 31節

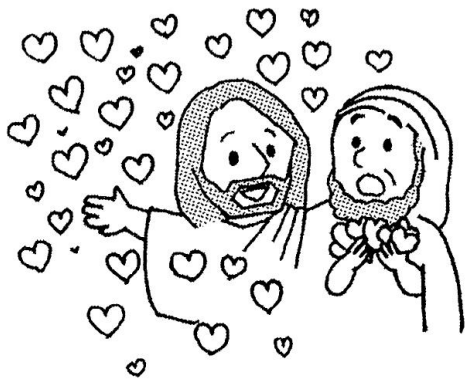
からし種って知っていますか？ 1 ミリくらいしかない小さな小さな種だけど、成長して3メートルくらいになることもあるって！！

あなたの信仰も最初は「神様を信じる」という、小さな、だれの目にも止まらないような一歩から始まったでしょう。でも、その信仰が、神様といっしょに生きていくだけで大きく大きく成長し、沢山の人があなたのまわりに集まってくるほどになるんですよ。

神様の国もそんな風に進んでいくんだって！

いのちの祈り

天のお父様、私の信仰はまだとても小さいですが、からし種のように大きく大きく成長できますように助けてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 18・21～35

七回を七十倍するまで

わたしは七回までとは言いません。
七回を七十倍するまでです。

マタイ 18・22

目標

神の無限の赦しを覚え、人を赦す者となる。

10月29日(日)

聖書
聖句

マタイ 18・22

わたしは七回までとは言いません。
七回を七十倍するまでです。22節

「仏の顔も三度」って言葉を知ってる？
どんなやさしい人でも、失礼なことをくりかえせば怒りだすってことみたい。イスラエルでも、「三度までは人を赦しなさい」って教えがあったんだって。でも、イエス様はちがうね！
七を七十倍だって！490回赦して491回目からは赦さなくていいよってこと？いいえ！この意味は「とことん赦す」ってこと！

そんなのできるわけないじゃん、って思ってるあなた。イエス様が言うからには、あなたも赦せる人に、しかも、とことん赦す人になるよ、ってことなのです！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の言われるようにとことん赦す人になってください。

10月30日(月)

聖書
聖句

マタイ 18・21

兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。21節

ペテロはいつもイエス様の一番でいたいと思うお弟子さんでした。そして、あるとき、赦しについてイエス様に聞いてみたんだ。

ペテロは、三度でなく七度も赦すなんて、なんと心が広いんだとほめてほしかったかもしれないね。みんながあっ！とおどろいて、やっぱりペテロはイエス様の一番弟子だっと思われたかったかもしれないね。

でも、ペテロは赦しということを、まだよく分かっていませんでした。

いのちの祈り

天のお父様、わたしも赦しのことをまだよくわかっていません。イエス様の赦しのがわかる子どもにしてください。

10月31日(火)

聖書
聖句

マタイ 18・23～27

一万タラントの負債のある者が、王のところに連れて来られた。24節

ペテロのしつもん、イエス様はあるたえでお答えになりました。

王様にお金を借りていた人の話。一万タラントってね、一万年働いても返せないお金。そんなお金どうすりゃいいのさ！！

でも、必死に「お金を返すまで待ってください！」と言うのをかわいそうに思い、王様は借金をなかったことにしてくれたのです！

この、返せない借金に罪のこと。赦したのは神様、赦されたのはわたしたち一人一人のことだよ！神様のあわれみの大きさに感謝だね。

いのちの祈り

天のお父様、返しきれない罪を、あなたが赦してくださったことを感謝します。

11月1日（水）

聖書
聖句

マタイ 18・28～30

その家来^{けらい}が出て行く^でと、自分^{じぶん}に百^{ひゃく}デナリの借^かりがある仲^な間^まの一人^{ひとり}に出^で会^あった。彼^{かれ}はそ^その^{ひと}人^{ひと}を捕^{つか}まえて首^{くび}を絞^しめ、『借^し金^{きん}を返^{かえ}せ』と言^いった。

28節

王^{おう}様^{さま}に返^{かえ}しきれない借^し金^{きん}を赦^{ゆる}してもらった家来^{けらい}。ところが、帰^{かえ}り道^{みち}に出^で会^あった仲^な間^まを見^みたとん、首^{くび}をしめて「金^{かね}をかえせ～！！」と言^いい、牢^{ろう}屋^やに入^いれたのです。百^{ひゃく}デナリ^てって百^{ひゃく}日^{にち}分^{ぶん}のお給^{きゅう}料^{りょう}だから返^{かえ}そうと思^{おも}えば返^{かえ}せるんだ。でも、この人^{ひと}は仲^な間^まを赦^{ゆる}せませんでした。

自分^{じぶん}がどんなに王^{おう}様^{さま}にあわれんでもらったか、赦^{ゆる}しのおおきさや意^い味^みを分^わかっ^かてい^いなかつたのです。

祈^{いの}り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、赦^{ゆる}されたこと^{こと}の意^い味^みを、心^{こころ}から分^わかりま^ますよう^{よう}に。

11月2日（木）

聖書
聖句

マタイ 18・31～34

私^{わたし}がおま^まえを^あわれ^れん^でや^やったよ^うに、おま^まえも自^じ分^{ぶん}の仲^な間^まを^あわれ^れん^でや^やる^{べき}ではな^なかつた^{のか}。

33節

王^{おう}様^{さま}は、赦^{ゆる}してあ^あげ^た人^{ひと}が自^じ分^{ぶん}の仲^な間^まにし^{した}こ^こを聞^きいて、と^とても怒^{おこ}りま^ました！ そ^そして、こ^この家^け来^{らい}を牢^{ろう}屋^やに入^いれてしま^いいま^ました。

人^{ひと}のし^{した}こ^こを赦^{ゆる}すとい^いうの^のは、か^かん^たん^なこ^こではあ^ありま^ません。王^{おう}様^{さま}だ^だって一^{いち}万^{まん}タラ^らントを赦^{ゆる}したとき、そ^その一^{いち}万^{まん}タラ^らントは王^{おう}様^{さま}が背^せ負^おったの^のと^とじ^じこ^こ。そ^それ^れほ^ほど^どに赦^{ゆる}して^もら^らった^なら^らば、王^{おう}様^{さま}のよ^よう^うな心^{こころ}で、仲^な間^まを赦^{ゆる}す人^{ひと}にな^なら^らな^なけ^けれ^れば^なり^りま^ません^でした^ね。

赦^{ゆる}された人^{ひと}は、赦^{ゆる}す人^{ひと}にな^なるはず^ずです^ね。

祈^{いの}り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、わ^わた^たし^もた^たく^くさん^{さん}赦^{ゆる}さ^されて^いる^のに、小^こさ^さな^なこ^こを赦^{ゆる}せ^ずに^いま^ました^の。ご^ごめ^めん^んな^なさい。

11月3日（金）

聖書
聖句

マタイ 18・35

自^じ分^{ぶん}の兄^{きょう}弟^{だい}を心^{こころ}から赦^{ゆる}さ^さない^{なら}、わ^わた^たし^の天^{てん}の父^{ちち}もあ^あな^なた^がた^に、こ^このよ^よう^うにな^なさ^さる^のです。

35節

今^{こん}週^{しゅう}のお^おは^なし^を聞^きいて^きて、神^{かみ}様^{さま}があ^あな^なた^に何^{なに}を願^{ねが}っ^てお^おら^られる^か分^わか^かり^ました^か？

こ^これ^は、あ^あな^なた^への「赦^{ゆる}し^のチヤレ^んジ」！自^じ分^{ぶん}のち^ちっ^ぽけ^でせ^まい^{こころ}では人^{ひと}を赦^{ゆる}せ^ません^が、神^{かみ}様^{さま}か^から^らも^もら^らった赦^{ゆる}しと愛^{あい}とが^ある^なら^らば、あ^あな^なた^も赦^{ゆる}す人^{ひと}にな^なる^のです。

一^{いち}日^{にち}一^{いち}日^{にち}、自^じ分^{ぶん}が返^{かえ}しきれ^れない罪^{つみ}を赦^{ゆる}さ^された人^{ひと}であ^ある^こを思^{おも}っ^て感^{かん}謝^{しゃ}し、神^{かみ}様^{さま}のた^ため^に、だ^だれ^れか^かを赦^{ゆる}せる人^{ひと}にな^なっ^てい^いこ^こう^うね。

祈^{いの}り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、あ^あな^なた^のチヤレ^んジを^うけ^けと^とり^りま^ました。わ^わた^たし^が赦^{ゆる}さ^された^よう^うに、わ^わた^たし^もだ^だれ^れか^かを赦^{ゆる}す人^{ひと}にな^なり^りま^ます。

11月4日（土）

聖書
聖句

マタイ 18・22

わ^わた^たし^は七^{なな}回^{かい}ま^まで^とは^いい^ません^の。七^{なな}回^{かい}を七^{なな}十^{じゅう}倍^{ばい}する^まで^です。

22節

イス^いス^すラ^らエル^で「七^{なな}」は「完^{かん}全^{ぜん}」の意^い味^みだ^だけ^けど、イ^いエ^えス^す様^{さま}はそ^その完^{かん}全^{ぜん}に、完^{かん}全^{ぜん}を^かさ^さね^て赦^{ゆる}す^よう^うに^い言^いわ^われた^んだ^ね。つ^つま^まり^り 100 パー^ぱセ^せント！

そ^そのイ^いエ^えス^す様^{さま}が、わ^わた^たし^たち^の罪^{つみ}のた^ため^に十^{じゅう}字^じ架^かで苦^{くる}しま^まれた^すが^がた^を見^みると、罪^{つみ}が^まつ^つた^く、完^{かん}全^{ぜん}に赦^{ゆる}さ^された^こと^がよ^よく^わか^かる^ね！

だ^だれ^れか^かに傷^{きず}つ^つけ^けら^られた^として^も、そ^その傷^{きず}を人^{ひと}へ^のう^うら^らみ^みで^はな^なく、「イ^いエ^えス^す様^{さま}が自^じ分^{ぶん}のた^ため^にに苦^{くる}し^しん^んだ^こを思^{おも}う傷^{きず}あ^あと」だ^だ、と見^みつ^つめ^めら^られる^よう^うにな^なる^よ。イ^いエ^えス^す様^{さま}の傷^{きず}によ^よつ^つて^わた^たし^たち^は赦^{ゆる}さ^され^れ、い^いや^やさ^され^れて^いる^よ。

祈^{いの}り

天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、完^{かん}全^{ぜん}に罪^{つみ}を赦^{ゆる}す^ため^にに十^{じゅう}字^じ架^かに^かか^から^られた^イエ^えス^す様^{さま}を^あり^がが^たう^うご^ござ^ざい^いま^ます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 22・1～14

婚宴への招き

何もかも整いました。どうぞ披露宴においでください。

マタイ 22・4

目標

神の招きにお応えして、天国の幸を知る者となる。

11月5日(日)

聖書
聖句

マタイ 22・4

何もかも整いました。どうぞ披露宴においでください。 4節

結婚式のお祝いのパーティに行ったことはあるかな？夢のような服を着て、たくさんのお客さんとたくさんのごちそうがならんで、みんなにここに！だってね、これからずっといっしょに生きていく二人のお祝いの日だもの。おめでとう！ ありがとう！ ほんとうによかったね！ そんなことばしか聞こえてこない幸せすぎるパーティ！

聖書にはね、イエス様の結婚のパーティのお話が出てくるよ！ 花嫁は教会！ そこにはわたしたちもいるって！ でも、神様はもっとおおきな計画を持っているんだって！

いの祈り

天のお父様、お話にかくされた、あなたの大きな計画を知ることができますように。

11月6日(月)

聖書
聖句

マタイ 22・1～3

王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。 3節

あなたは、お友だちとすごきたいせつな約束をしたのに、その約束をやぶられた！ なんてことはない？ もし、そうだったらどんなにかくやくして悲しいだろうね。

神様もそんな、つらく悲しい思いになることがあるんだって。

それは、神様にとっていちばんうれしい日、お祝いしてほしくて、いろんな方法で、ご自分が来てほしいと思った、たくさんの人を招いたのに、喜んでくれる人がいないときです。

いの祈り

天のお父様、ひとりでもあなたのお招きに喜んでこたえられますように。

11月7日(火)

聖書
聖句

マタイ 22・4～6

ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。 5～6節

もしどこかの王様にあなたが招かれたとき、それを無視してこんなことが平気できる？

でも、これが人間の神様への態度なのです。神様はいつもやさしく、聖書から語りかけ、お祈りにこたえ、ときには人を送って神様の愛がどんなにすばらしいかわらせてくださっているのに、人は自分のつごうのほうで、神様よりもたいせつになってしまい、神様にらんぼうな態度をとっているのです。

あなたの生活がそんな風になっていないか、どうするのが正しいか、考えてみてください。

いの祈り

天のお父様、まずあなたを喜ばせる生活がいちばんにできますように。

11月8日(水)

聖書
聖句

マタイ 22・7~8

披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。
8節

神様ってなんでときどきひどいことをするの？ と思う人もいるかもしれません。

でもね、よく考えてみれば、神様が人にどれだけの長い時間をがまんし、努力し、待っておられたか、反対に、人が神様にどんなにわがままで自分かってだったかくらべてください。

神様には、神様が決めたおわりの時があるって、聖書は教えています。それは人間が決められるものではありません。

人は自分の命、自分の時間は自由だと思っているけれど、本当は神様の手のの中にぜんぶあるんだと知ってください。

いの
祈り

天のお父様、あなたが決めた時間を感謝してたいせつに生きられますように。

11月9日(木)

聖書
聖句

マタイ 22・9~10

良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。
10節

教会ってほんとにふしぎなとこだなあとと思います。やさしい人におこりんぼ、いつも泣いてる人にいつも笑ってる人、病気をかかえた人になんでもできる元気な人、むかしはすごく悪いことをしたけど今は！ っていう人。

そういう人を見てみると、えらいから、いい子だから天国に行けるわけじゃないんだなってわかるでしょう？ 神様はわたしもあなたも、どうか天国にきてほしいって、声をかけて招いてくださったってこと、イエス様はみんなのために十字架にかかって罪をゆるしてくださったんだってこと、わかるでしょう？

いの
祈り

天のお父様、すべての人が天国に招かれていることをありがとうございます。

11月10日(金)

聖書
聖句

マタイ 22・11~13

友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入ってきたのか。 12節

神様が、天国に招いた人をむかえるのに、かならず必要なことがひとつあります。

それは神様がくださった天国用のとくべつな服を着ているかってこと。言いかえると、イエス様を信じて、罪赦されましたか？ ってこと。神様の目から見たら「うん、あなたは正しい！」って認められる「しるし」のことだね。

ところが、天国にだけは入りたいて思っているけど、イエス様を信じないまま、自分の力が入ってこようとする人も中にはいるんだね。

あなたはどうか？ 天国のとくべつな服、もう着ていますか？

いの
祈り

天のお父様、イエス様を心にお迎えして、天国に行きます。

11月11日(土)

聖書
聖句

マタイ 22・14

招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。 14節

今週一週間、天国のパーティのお話をきいてどうでしたか？ 神様がどんな気持ちでおられるか、ちょっとはわかったかなあ。

日本はキリスト教っていうと 0.1 パーセントだから 1000人にひとりしか信じてる人がいないってことになるね。

もし、神様の気持ちをあなたが受け取ったなら、あなたのまわりのお友だちにも、天国のこと、神様のこと、イエス様のこと、話してみてください。たくさんの人といっしょに天国に行きたいね！

いの
祈り

天のお父様、たくさんの人と天国にいっしょに行けますように。わたしも伝えられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 25・1～13

主の再臨に備える

目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。

マタイ 25・13

目標

霊の目を覚まして、主のご再臨に備えた生き方をする。

11月12日（日）

聖書
聖句

マタイ 25・1～13

目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。 13節

イエス様が信じるわたしたちを再び迎えに来てくださる、このことを再臨と言います。その日その時は誰にもわかりません。来られる本人のイエス様も！ もちろんわたしたちもわかりません。ただ父なる神様だけが知っておられます。十二年前は3・11という心張り裂けるような災害や、台風の災害があり、世の終わりが近いと誰もが思ったでしょう。再臨から、最後の審判、新天新地、つまり永遠の神の国、つまり天国へと移されます。天国のたとえを心に刻みましょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたがいつ来られてもよいように、賢い五人が油を備えていたように、わたしをもお助けください。

11月13日（月）

聖書
聖句

マタイ 25・1～4

そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。 2節

パツと思いついて、サツとやってしまう人もいれば、じっくり、ゆっくりよく考えてやる人もいます。パツ、サツも、時には必要かもしれないです。しかし、「目を覚ましていなさい」ということは、きっと、しっかり考えて賢くやりなさいということなのでしょう。天国のたとえに出てくるあかりを手にして花婿を迎えに出て行く十人のおとめ。半分の五人は考えが浅い人、あと五人は考え深い人で、あかりのために油も一緒に用意をしていたのです。

いのちの祈り

天のお父様、「花婿のおいでがもしかして遅いと、きっと油がもっと必要」と、よく考えた賢い五人のようでありたいです。

11月14日（火）

聖書
聖句

マタイ 25・5

花婿が来るのが遅くなったので、娘たちはみな眠くなり寝入ってしまった。 5節

「待つ」ことの苦手な子がいいますか？「長いこと待たされる」と、どんな気持ちになりますか？「やーめた。もうこれ以上無理、待てない」となりますか？この十人のおとめたちは、考えの浅い人たちも、考えの深い人たちも、花婿さんの来るのがおくれたので、待つ、待つ、待つうちに、とうとうみんな居眠りがついてきて、コックリ、コックリ、そして、グーと寝てしまいました！気持ちよく寝ていれば、心もまことに平安でいいかもしれませんね。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様のおいでになるのも、今もまだ長く待たれています。みんなが救われるよう待っていてくださるのですね。

11月15日(水)

聖書
聖句

マタイ 25・6～7

夜中になって、『さあ、花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。 6節

夜中、あなたはよく睡眠ですか？ それとも浅い眠り？ 子どもの間はきっと夜中にふと目が覚めたりとか、眠れなかったりとかはないですね。花婿さんは「夜中」にご到着でした！

Iテサロニケ5・2にも「主の日は盗人が夜やって来るように来る」とありますから、突然、不意打ちのようにして、花婿なるイエス様がやって来られるのですね！ その呼ぶ声に、十人のおとめたちは、一瞬、ボーッとしたかもしれません、ハッとわれに帰ってあかりを調整しました。

いの祈り 天のお父様、いつイエス様が迎えに来てくださってもいいように、目をさまして、待つ子どもにしてください。

11月16日(木)

聖書
聖句

マタイ 25・8～10

分けてあげるにはとても足りません。 9節

ところがです。考えの浅い五人のおとめたちは、急にあわて始めました。アラアラ、もう油がきれてきて、あかりが消えそうだと。そこで油の用意をしていた五人の人たちにお願いました、「あなたがたの油をわたしたちに分けてください」とね。しかし、「あなたがたの分までは足りませんから、店にまで行ってお買いになられたら？」と言われました。五人は出かけて行き、その内に花婿が来られ、婚宴のへやに五人は一緒に入り、戸がしめられたのです！

いの祈り 天のお父様、自分の油は自分で、つまり、みことばと聖霊によって信仰のあかりをしっかりともしねばなりません。

11月17日(金)

聖書
聖句

マタイ 25・11～12

しかし、主人は答えた。『まことに、あなたがたに言います。私はあなたがたを知りません。』 12節

「戸が閉じられた」というみことばは、ノアの箱舟の時のことを思い出しますね。神様がしめられたら、もう絶対にもう一度あけられるチャンス、入れるチャンスはないのです。とても厳粛ですね。ここでも油を買いに行っていた五人のおとめたちがやっとのことで帰ってみると、ああ、戸がしめられている…『ご主人様、ご主人様、どうぞあけてください』と言うと、きょうのきびしいみことばの答えでした。イエス様を知り、イエス様に知られている子どもに！

いの祈り 天のお父様、毎週、まじめに教会に行つて聖書のお話を聞き、毎日聖書を読んでお祈りをし、イエス様と共に歩きます。

11月18日(土)

聖書
聖句

マタイ 25・13

ですから、目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。 13節

「ですから」と、もう一度、今週のみことばをしっかり、心に刻みましょう。「その日、その時」、つまり、花婿なるイエス様がこの地上においでになる時は誰にもわからないのです。ですから、きょうか、きょうかと、毎日、いつも備えている必要がありますね。それで毎日、いつも「目を覚まして」いなければなりません。もちろん夜は身体は眠りますが、心の眼はいつも覚ましているのです。それは教会へ行き、聖書を読み、お祈りし、聖霊に満たされていることです。

いの祈り 天のお父様、ほんとにイエス様のおいでが近いと感じられます。目を覚まして信仰生活に励むことができますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 25・14～30

タラントを活かす

よくやった。良い忠実なしもべだ。

マタイ 25・21

目標

与えられた賜物を生かして、神に仕える者となる。

11月19日(日)

聖書
聖句

マタイ 25・14～15

天の御国は、旅に出るにあたり、自分のしもべたちを呼んで財産を預ける人のようです。 14節

わたしたちには、ひとり一人、違った能力がありますね。勉強の能力！スポーツ。工作がじょうず、絵がじょうず、本読みが得意、などなど…。同じ能力の人はだれ一人いません。え、なにも得意なことがないって？ いいえ、そんな人はいないはず。だって、イエス様は、わたしたちひとり一人にタラントをくださっているんだって、イエス様が言っておられますよ。

もともとイエス様が持っておられたものですが、あなたにピッタリのタラントを預けてくださったわけなのです。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様がわたしにピッタリのタラントを預けてくださったことを感謝します。

11月20日(月)

聖書
聖句

マタイ 25・16～18

五タラント預かった者は出て行って、それで商売をし、ほかに五タラントをもうけた。 16節

旅にでた主人からタラントをあずかったしもべたちは、そのお金でさっそく商売しました。「ご主人様に喜んでほしい！」と、主人を愛して信頼していたからです。五タラントの人はさらに五タラント。二タラントの人はさらに二タラントもうけました！ところが、一タラントの人は、タラントを土にかくしています…。

イエス様を愛して信頼していると、イエス様のためによりこんで働く人になるのです。あなたはイエス様のこと、愛している？ 信頼している？

いのちの祈り

天のお父様、イエス様を愛して信頼していきたいです。イエス様のために、よりこんで働く人になりたいです！

11月21日(火)

聖書
聖句

マタイ 25・19～23

おまえはわずかな物に忠実だったから、多くの物を任せよう。 21節

旅にでていた主人が、ついに帰ってきました。五タラント、二タラント預かった僕たちが、「ご主人様。あなたから預かったもので、さらにもうけました！」とタラントを返しました。主人は「よくやった。良い忠実なしもべだ」とほめて、主人もしもべたちも大喜び！主人は、しもべたちを信頼して、もっとたくさんのものを任せることにしたのです。

イエス様を信頼して、イエス様のために働くと、こんどはイエス様に信頼されるんですね！とってもステキなかんけい！

いのちの祈り

天のお父様、わたしもイエス様に信頼していただける人になれますように。

11月22日（水）

聖書
聖句

マタイ 25・24～25

それで私は怖くなり、出て行って、
あなた様の一タラントを地の中に隠
しておきました。 25節

主人としもべたちが喜んでいたところに、
一タラントを預かったしもべがきて、隠してい
たタラントを見せました。そしてなんと、主人
にたいして「厳しい方」と言いました。つまり、
こわくてひどい人と言ったのです！ 商売をし
て、もし失敗したら、主人におこられる！ そ
んなの、めいわくだから何もしない！と思っ
ていたのです。とんでもない誤解です。

このしもべは、主人をわかっていません。イ
エス様がどんなお方かわからないと、信頼でき
なくなってしまうのですね。

いの祈り 天のお父様、イエス様がどんなお方が、
もっとわかるようにしてください。いつ
もイエス様を信頼できますように。

11月23日（木）

聖書
聖句

マタイ 25・26～28

そのタラントを彼から取り上げて、
十タラントを持っている者に与えよ。 28節

主人は、一タラントのしもべに「悪い、怠け
者のしもべだ」と言いました。主人に愛されて、
すばらしいタラントを預けられていたのに。こ
のしもべは、主人を信頼しないし、主人の愛を
受けとろうともせず、何もしてませんでした。主人
は、一タラントをとりあげて、五タラントをも
うけた人に預けてしまいました。

すばらしいタラントを預かっても、イエス様
のために最後までなんにもしなかったら、もう、
何も任せてもらえなくなってしまう。イエ
ス様に信頼されないって、かなしすぎる。

いの祈り 天のお父様、イエス様から何も任せてもら
えないなんて、かなしいです。すばらしい
タラントをよろこんで用いていきます。

11月24日（金）

聖書
聖句

マタイ 25・29～30

だれでも持っている者は与えられて
もっと豊かになり、持っていない者は
持っている物までも取り上げられる
のだ。 29節

「持っている人」というのは、あずかったタ
ラントを用いる人のこと。そういう人は、イエ
ス様からさらに、タラントをあずけられます。
「持っていない人」は、タラントを用いない人。
「役に立たないしもべ」と言われてしまいます。
今、預かっているタラントを用いたら、イエ
ス様は、さらにあなたを用いよう！と決めて、
タラントを預けてくださいます。イエス様のた
めにできることを、イエス様がどんどんふやし
てくださるのです。すごい！

いの祈り 天のお父様、イエス様のためにできるこ
とを、もっとふやしていただきたいで
す！

11月25日（土）

聖書
聖句

マタイ 25・21

主人の喜びをともに喜んでくれ。 21節

あなたがもっている能力は、イエス様から預
かったタラント。それは、人にほめられるため
ではなく、イエス様が喜んでくださるために用
いるのです。ふたたびイエス様が地上にもどっ
てこられたとき、お返しするということを、ど
うか忘れないでください。

自分は何タラントかな？ 何タラントもうけ
られるかな。それは気にしない。イエス様のた
めによろこんで用いることが大切。するとイエ
ス様は言われます、「ともに喜んでくれ」。イエ
ス様は、あなたとよろこびを分かちあうために、
タラントを預けてくださったんです！

いの祈り 天のお父様、イエス様とともによろこぶ日
をめざして、よろこんでタラントを用いて
いきます！

しゅうかくかんしゃ
収穫感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇145・8～16

日々の糧を与える神

あなたは時にかなって／彼らに食物を与えられます。

詩篇145・15

目標

ひごとの糧を与えてくださる神様を覚え、感謝と信頼をもって生きる。

11月26日（日）

聖書
聖句

詩篇145・8

【主】は情け深く あわれみ深く／怒るのに遅く 恵みに富んでおられます。
8節

今日は、収穫感謝の日です。あなたのために、作物をそだて、そなえてくださっている神様に心から感謝しましょう。

神様は、「恵みに富んでおられる」お方だということをおぼえましょう。あなたが食べることができるのは、神様の恵み。ほんとうは、あなたがもらえないはずのものを、神様があたえてくださっている。それを「恵み」と言うのです。食べられるって、あたりまえじゃない。ご飯はもちろん、おやつやジュースをいただくときも、神様への感謝をわすれないでね。

いの祈り

天のお父様、いつも食べ物恵みをくださって感謝します。あなたへの感謝をわすれないようにあゆみます。

11月27日（月）

聖書
聖句

詩篇145・9～10

【主】はすべてのものにいつくしみ深く／そのあわれみは／造られたすべてのものの上にあります。
9節

神様は、世界のすべてをつくり、あなたをつくられました。ご自分がつくられたもの、すべてを心から愛してくださるお方です。

わたしたちを愛してくださる神様に、感謝のおくりものをしませんか。なにがいちばんいい？ それは、賛美。神様を信じて、賛美することは、本当にすばらしいこと。神様がわたしたちの賛美を心からよろこんでくださるからです！ 賛美は、わたしたちから神様への、たいせつなプレゼントなのです。賛美のイメージ、すこし変わったかな。

いの祈り

天のお父様、わたしをつくり、愛して下さり感謝します。賛美のプレゼントを、あなたにおさげします。

11月28日（火）

聖書
聖句

詩篇145・11～12

彼らはあなたの王国の栄光を告げあなたの大能のわざを語ります。

11節

わたしたちのまわりにいる多くの人は、自分たちをつくってくださった神様を知りません。恵みをくださる神様に感謝しないで生きることは、とても残念なことです。

でも、まず、わたしたちが神様を賛美していきましょう。賛美は、人々に神様のことを伝える力があるのです。「なぜ、あんなによろこんで歌っているのかな…」と人々には不思議に思うでしょうね！ お友だちに神様を伝えたい、あなた。あなたが心からよろこんで賛美することから、始めてみたらどうか。

いの祈り

天のお父様、あなたのことを伝えるために、まずわたしから、あなたを心から賛美していきます。

11月29日(水)

聖書
聖句

詩篇145・13

あなたの王国は永遠にわたる王国。
あなたの統治は代々限りなく続きます。
13節

神様って、いつからいるんだろ…と思ったことってありませんか。神様は、世界をつくられたお方ですから、世界が始まる前は、まず神様だけがおられたのです。そして、神様は永遠にわたしたちといっしょにいて、わたしたちの王様として治めてくださいます。

神様を信じるわたしたちは、神様のものとでいつまでも、いつまでも、いっしょにすごすことができます。なんて幸せなんだろう、って思いませんか。永遠の神様は、わたしたちに永遠の幸せをくださるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたは永遠におられるお方だとわかりました。わたしにも永遠に生きる幸せをくださり、感謝でいっぱいです。

11月30日(木)

聖書
聖句

詩篇145・14

【主】は倒れる者をみな支え かがんでいる者をみな起こされます。
14節

神様には、実は、気になってしかたがない人々がいます。どんな人だと思えますか？それは、悲しんでいる人、苦しんでいる人、困っている人、人にばかにされたり、きらわれていたり…、そういう倒れそうな弱っている人々を、神様は注目しておられるのです。

わたしたちは、テレビとかユーチューブに出るような有名人ばかりを注目します。しかし、神様は、だれにも知られない、弱い立場の人々をいちばんに見て、支えてくださるのです。あなたは今、だれのことをいちばんに見ているかな。

いのちの祈り 天のお父様、わたしが倒れそうなとき、支えてくださり感謝します。わたしの目を弱っている人々にむけさせてください。

12月1日(金)

聖書
聖句

詩篇145・15

あなたは時にかなって／彼らに食物を与えられます。
15節

今、あなたがほしいものって、なんでしょう。あれがほしい、これがほしい、これがないと困る…。神様は、「時にしたがって」、あなたに食べ物や必要なものをくださいます。あなたにとって必要なものはなにか、神様がいちばんよく知っておられます。しかも、あなたにとっていちばんのタイミングで与えてくださるのです。

何かがほしいとき、困っているとき、ほんとうにそれが必要かどうか、神様にお祈りして、タイミングをお任せしてみましょ。神様に信頼していれば、ぜったいに大丈夫です。

いのちの祈り 天のお父様、あなたはわたしに必要なものを知っておられ、与えてくださり、感謝します。あなたを心から信頼していきます。

12月2日(土)

聖書
聖句

詩篇145・16

あなたは御手を開き／生けるものすべての願いを満たされます。
16節

神様は、ご自分の手で、わたしたちに必要なるものを与えてくださるんですね、しかも、飽きるほどに！神様の目は、神様を信じていない、すべての人々にもむけられています。神様は、すべてのつくられた者を祝福したいのです。

わたしたちをとおして、神様を賛美する人がふえていったら、うれしいですね。神様に感謝して、信頼する人生って、ほんとうにすばらしいんだ！って、あなた自身がしっかり体験していってください。

いのちの祈り 天のお父様、あなたに感謝して信頼しつづけます。あなたのすばらしさを知る人生にしてください。

アドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

イザヤ7・1～17

インマヌエル^{よげん}

見よ、処女が身ごもっている。
そして男の子を産み、その名を
インマヌエルと呼ぶ。

イザヤ7・14

目標

困難の中にも共におられる神に
信頼する者となる。

12月3日（日）

聖書
聖句

イザヤ7・1～2

王の心も民の心も、林の木々が風
に揺らぐように揺らいだ。 2節

今日からイエス様のお誕生を待ち望むアド
ベント。イエス様のお誕生が預言されたのは、
お誕生の約700年前。イスラエルの国が北と
南に分裂している時代です。北イスラエル王
国とアラムの国が、南ユダ王国をせめようと
していました。ユダの王様と人々の心は、風に
ふかれてユラユラ動く木のように、不安でユラ
ユラ。そんなとき、神様は預言者イザヤをつか
わし、神様のみことばを伝えられました。

不安になりやすいわたしたち。そんな時、わ
たしたちを力づけ、たすけてくれるのは神様
のみことばです。

いの
祈り

天のお父様、不安になりやすいわたしに、
いつも神様のみことばを与えてたすけ
てください。

12月4日（月）

聖書
聖句

イザヤ7・3～6

気を確かに持ち、落ち着いていな
さい。恐れてはならない。 4節

イザヤは、ユダの王アハズに神様のみことば
を伝えにきました。「気を確かに持ち、落ち
ついていなさい。恐れてはならない」。ユダを
滅ぼそうという悪い計画が進んでいるけれど、
落ち着きなさい。恐れるな！ と神様はアハズ
王をはげましてくださったのです。

わたしたちは、悪い噂を聞くと、「ど
しよう…」と不安になってしまいます。でも、
神様は言われます、「恐れるな！」このみこと
ばは、聖書でなんども神様が言われている、
大切なメッセージ。誰にはげまされるよりも、
神様のはげましは心強いですよ！

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしを力強くは
げましてくださっていることを感謝し
ます。

12月5日（火）

聖書
聖句

イザヤ7・7～9

あなたがたは、信じなければ／堅く
立つことはできない。 9節

神様はつづけてアハズ王に、「ユダが滅ぼさ
れるという計画は決して起こらない」と言わ
れました。逆に、ユダを攻めてくる北イスラ
エル王国の人々が、65年のうちにいなくなって
しまうのです。ウソオ、と信じられない
アハズ王に、神様は「信じなければ堅く立つこ
とはできない」…つまり、信じないとあなたが
たは滅びてしまうよ！と言われたのです。

せっかく神様がはげましてくださっている
のに、神様のみことばが信じられなかったら
意味がありませんね。みことばは、いつもすな
おに、そのまま信じるのが大切です。

いの
祈り

天のお父様、あなたのみことばを疑わ
ず、すなおに信じるのができるよう。

12月6日（水）

聖書
聖句

イザヤ7・10～13

あなたがたは人々を煩わすことで
足りず、私の神までも煩わすのか。
13節

なかなか、神様を信じることができないアハズ王。神様はさらに、「主にしるしを求めなさい」と言われました。「あなたが信じるために、しるしを見せてあげるから求めなさい」ということ。神様がここまで言うてくださったのに、アハズ王はしるしを求めず、神様のみことばを信じようともしませんでした。そこでイザヤは、「あなたは神様まで悩ませ、心配させるのか！」と強く言いかえたのです。

神様のみことばを信じないということは、神様を悩ませ、心配させることなのです。

いの
祈り

天のお父様、あなたの心を悩ませ心配させたくありません。みことばを心から信じていきます。

12月7日（木）

聖書
聖句

イザヤ7・14

見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。
14節

神様は、ご自分から一つのしるしを与えると言われました。それは、「まだ結婚をしていない女の人から、男の子が生まれる。その子の名前はインマヌエルと呼ばれる」。これが神様が下さるしるし、救い主イエス様のお誕生！ インマヌエルというのは、「神様はともにいてくださる」という意味。

アハズ王は神様を信じなかったので、彼を助けてくださるしるしはありませんでした。700年後にお生まれになる救い主誕生というしるしを、神様は預言をとおして約束されたのです。

いの
祈り

天のお父様、わたしのために、こんな昔から救い主のお誕生を約束してください、本当に感謝します！

12月8日（金）

聖書
聖句

イザヤ7・15～17

この子は、悪を退けて善を選ぶことを
知るところまで、凝乳と蜂蜜を食べ
る。
15節

救い主イエス様についての預言はもう少しつづきます。「凝乳と蜂蜜を食べる」と書いてあるけど、これは、とても貧しい人の食べ物のこと。イスラエルはこれから他の国に支配されてしまい、さらに暗い、貧しい時代がやってきます。そんな時代に、救い主イエス様がお生まれになるよ！ということなんです。

イエス様が来てくださる場所は、いつだって暗くて貧しくてつらい場所。それは、罪だけでなく暗くなっている人々の心を、つらくて苦しむ人々の心を、救ってくださるためなのです。

いの
祈り

天のお父様、罪だけでなく、苦しんでいる心にイエス様が来てくださり、救ってくださることを心から感謝します。

12月9日（土）

聖書
聖句

イザヤ7・14

見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。
14節

イスラエルがつらく苦しい時代、救い主イエス様のお誕生が預言されました。いちばんつらくて苦しい時こそ、神様は「インマヌエル！ わたしはいつもいっしょだよ。だいじょうぶだよ！」とはげましてくださるお方です。

つらい時、かなしい時、インマヌエル！というみことばを思い出して下さい。神様は、遠くから、あなたをながめておられるのではありません。いつも、ともにいて下さるのが神様なのです。この神様のお約束を信じるなら、ほんとうに神様がいらっしゃる！ってわかりますよ！

いの
祈り

天のお父様、あなたがともにいてくださるというお約束を心から信じて、あなたのすばらしさを体験したいです！

Ⅱアドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

イザヤ 9・1～7

救い主誕生の預言

ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。

イザヤ 9・6

目標

私たちのために生まれた救い主を信じる。

12月10日（日）

聖書
聖句

イザヤ 9・6

ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。 6節

クリスマスに向かっていく十二月は、なんだか心がポカポカあったかく、待ちどおしい気持ちになりませんか？

神様がわたしたちを愛して愛して、あなたと共にいたい！ わたしからはなれないでほしい！ そう願って送ってくださったイエス様。

そのお誕生は、イエス様が生まれる 700年も前の聖書にはっきりと書かれていたんだよ。

そのイエス様が、わたしのためだったって、あなたは信じますか？

いのちの祈り

天のお父様、あなたがわたしを愛して、イエス様をわたしのために送ってくださったことを感謝します。

12月11日（月）

聖書
聖句

イザヤ 9・1

苦しみのあったところに闇がなくなる。 1節

毎日ニュースを見ていると、病気や戦争、災害や人同士のぶつかり合いなど、本当に心が痛くなるものがたくさんあるよね。あなたも、今年一年、きっと楽しいことばかりではなく、しんどいこと、つらいこともあったでしょう。

生きていけば、苦しみはいっぱいやってくるけれど、その苦しみに勝つ力を持っている人はそんなに多くないんじゃないかな。とくに、「罪の苦しみに勝つ力」はたいせつだね…。

その「苦しみに勝つ力」、イエス様を信じたときに持つことができるようになる！ と、聖書からのおやくそくです。

いのちの祈り

天のお父様、苦しいことに勝つ力、イエス様によっていただけますように。

12月12日（火）

聖書
聖句

イザヤ 9・2

闇の中を歩んでいた民は／大きな光を見る。死の陰の地に住んでいた者たちの上に／光が輝く。 2節

イザヤの生きていた時代、ユダヤ人の国は二つに分裂し、憎みあい、戦争をしていました。そして、どちらの国も滅びてしまいました。そうなったのは、神様の言葉を聞かず、自分の良いと思うものだけに心をうばわれていたからでした。

神様の言葉を聞こうとしなければ、人の人生も国の運命も、罪という真っ暗闇の中で、くらってしまうことを、聖書は教えてくれます。

でもその中でも、神様は光を照らしてください。それがイエス様だよ、ということです。

いのちの祈り

天のお父様、罪で真っ暗なわたしたちの人生に、イエス様という光をくださり感謝します。

12月13日（水）

聖書
聖句

イザヤ9・3～4

刈り入れ時に喜ぶように、分捕り
物を分けるときに楽しむように、
あなたの御前で喜ぶ。 3節

「ミディアンの日」っていうのはね、ギデオンという人がたった300人で13万人の敵を倒したお話のことだよ。すごい出来事だね!?

でも、それどころではなく、イエス様はこの地球にいるすべての人のために来て、悪魔と、死の力に勝ったんだ。どんなにか大きな勝利、どんなにか大きな喜びだろう!

そして、その喜びを分け合うためには、あなたや、あなたのまわりの人もイエス様を信じる人の輪の中に加わることがたいせつなんだよね。

いのちの祈り 天のお父様、みんなでいっしょに、悪魔に勝たれたイエス様の喜びを分け合えますように。

12月14日（木）

聖書
聖句

イザヤ9・5

戦場で履いたすべての履き物、血にまみれた衣服は焼かれて、火の餌食となる。 5節

戦争はないほうがいいはずなのに、なんで起きてしまうんだろう。ある人は国のせいとか、宗教のせいだと言います。でも、聖書の言うことをよく考えてみて。

戦争は、わたしたちの生まれつきの心の中にある、だれかのものを欲しいと思ったり、だれかのことを嫌いだと思ったりする人同士の罪がふくらんで起きるのです。

イエス様は、奪ったり、欲しがったり、傷つけあう罪の心を滅ぼすために来られたのです。

あなたの罪、もう焼き尽くしてもらった?

いのちの祈り 天のお父様、罪を滅ぼすイエス様の力で、わたしの罪も焼き尽くしてください。

12月15日（金）

聖書
聖句

イザヤ9・6

その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。 6節

イエス様はね、どこかの遠い国のエラそうで信用できない王様ではないんだ。

聖書はイエス様のことを、いちばん近くにおられる方、あなたが思う以上の力、思う以上の安心を与えてくださるお方だって言っているよ。だから、どうしたらいいかわからない時はイエス様に聞けばいいし、勇気が欲しいときは力をもらえばいいんだね。

今日も、いっしょにいてくださるイエス様を信じて、すごしてくださいね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がわたしのいちばん近くにいてくださることを信じます。

12月16日（土）

聖書
聖句

イザヤ9・7

今よりとこしえまで。万軍の【主】の熱心がこれを成し遂げる。 7節

「今よりとこしえ」はね、イエス様が来てからずっと、永遠という意味です。

ユダヤ人は、神様が自分の国だけを選んでくれたと思っていました。でも、イエス様が来てからはちがったね。2000年以上たって、世界中の、イエス様を救い主と信じるすべての人が神様に選ばれた人、救われた人になったのです。そう、あなたも。

これが神様の公平と正義です。そのお約束は、ずっとずっと変わることがなく続いていくんだよ。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも、イエス様を信じて、あなたの約束をいただいたことを感謝します。

Ⅲアドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 1・18～25

ヨセフへの告知

この方がご自分の民をその罪から救いになるのです。

マタイ 1・21

目標

救い主として誕生されたイエス・キリストにより、罪赦され、救いを頂く。

12月17日(日)

聖書
聖句

マタイ 1・18～25

この方がご自分の民をその罪から救いになるのです。 21節

あなたも「待って、待って、待って、待って…やっとなんか！」ということがありましたか？ イスラエルの人たちも、「メシア（救い主）の誕生」を「待って、待って、待って」いたのです。そんなスペシャルな救い主のお誕生でしたから、いろいろと「？」ハテナ？ と首をかしげることもいっぱいでした。ヨセフさんは、「？」だけでなく、すごーく悩みに悩んだのです。でも、主の使いによってみごとに解決されました。

いのちの祈り

天のお父様、「罪から救いになる」イエス様のお誕生を感謝します。わたしも罪をゆるされて救われたいです。

12月18日(月)

聖書
聖句

マタイ 1・18～19

母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒ににならないうちに、聖霊によって身ごもっていることが分かった。 18節

まずは最初の「？」ですね。まだちゃんと結婚もしていないのに、婚約していただけなのに、マリアさんのお腹が大きくなってきた！ 聖書には「聖霊によって」と書いてあります。

神様の聖い霊によって、赤ちゃんイエス様がマリアさんのお腹に宿ったのでした！ でもそんなことをまだ全然知らなかったヨセフさんはとても悩んで、苦しんでマリアさんと縁を切ろうと心に決めました。マリアさんはひとこと言っていないのでした。

いのちの祈り

天のお父様、聖霊によってマリアさんのお腹に宿られた救い主イエス様は、本当に清いお方だとよくわかります。

12月19日(火)

聖書
聖句

マタイ 1・20～21

ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。 20節

マリアのあつい信仰を神様はきっと喜ばれたにちがいない。そしてあれこれ思いめぐらす、心優しいヨセフのために神様が主の使いをつかわして告げさせます。「恐れることはない、心配しないでいいのだよ」。これはいつでも神様が人にあらわれてくださる時の決まり文句です！ マリアは聖霊によって子を宿している、その子は罪からの救い主だから、安心してマリアを妻として迎えるがよい。ホッとしましたね。

いのちの祈り

天のお父様、わからなくて悩む時も、あなたは優しくわかるように教えてください、心より感謝いたします。

12月20日（水）

聖書
聖句

マタイ 1・22

このすべての出来事は、主が預言者を通して語られたことが成就するためであった。 22節

「へー、この赤ちゃんイエス様は預言されていて、生れてきたのかあ」って、驚きましたか？ 何年くらい前にどんな預言者によって、告げられていたと思いますか？ イエス様誕生の700年前でしたよ！ その預言者の名前は「イザヤ」です。イザヤ7・14を開いてみてください。ホントウニ!! 私たちは明日のことも、いえ、今日のことで何があるかわからないのに！ 神様の預言（みことば）のすごさ！

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみことば、預言者に語らせた預言は、100%その通りになることに、改めてオドロキます！

12月21日（木）

聖書
聖句

マタイ 1・23

見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。 23節

「今度生れる子はボクの弟かな？ 妹かな？」 お母さんのお腹に宿って五か月くらいしたら、「男の子ですよー」とか「女の子ですよー」ってわかるのですね！ でもここは700年も前から、「男の子ですよー」って記されています。そしてとても素敵なお名前ですね。「インマヌエル」 イスラエルの人のことばでヘブル語なのです。これを日本語に訳すと、「神われらと共にいます」となります。何と力強くて良いお名前でしょう！

いのちの祈り 天のお父様、やっぱり、救い主イエス様のお誕生は、どんなにかスペシャル（特別）だったかよくわかります。

12月22日（金）

聖書
聖句

マタイ 1・24~25

ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れた。 24節

あなたももしかして、夢の中で、神様の声を聞いたことありますか？ ヨセフは、夢の中で、これらのことを知らされ、また神様からの命令を聞いたのでした。「なあんだ、夢だったんだよね」って、忘れてしまったり、放っておいたりはしませんでした。しっかりと心の奥で受け止めました。そして、「主の使いが命じたとおりに」、マリアを妻に迎えたのです。マリアもイエスもヨセフの信仰に守られました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのなさることは少しの狂いもないことを覚えます。どこまでもあなたを信じぬいていきます。

12月23日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 1・24~34

見よ、世の罪を取り除く神の子羊。 29節

「主の道を備えよ」と荒野で叫んでいたバプテスマのヨハネ登場。ヨハネは「わたしは水でバプテスマを授けるが、わたしのあとにもっとすぐれた方が来られる」と言っていました。ついにヨハネはイエス様が自分の方にこられるのを見てイエス様を紹介しました。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」と！ イエス様は30歳になって、世の人々の前にあらわれられました。ヨハネの紹介はまさにズバリでした。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも罪を悔い改めて赦していただいて、罪から、永遠の滅びから救われて毎日過ごしたいです。

クリスマス



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 2・1～12
王なるキリストを迎える
ユダヤ人の王としてお生まれにな
った方は、どこにおられますか。

マタイ 2・2
目 標
キリストを王として心に迎える。

12月24日(日)

聖書
聖句

マタイ 2・1～12
ユダヤ人の王としてお生まれにな
った方は、どこにおられますか。 2節

メリー・クリスマス！ クリスマスおめでとう
ございます！ きょうはクリスマス前の日曜日
です。全世界の教会でイエス様のお生れを記念
して、クリスマス礼拝がもたれますよ！ わたし
もその中のひとりになれて幸せ！ と思うで
しょう？ クリスマスの幸せ、それはわたした
ちが罪から救われる喜びと、イエス様をわた
したの心に「王様」としてお迎えできること
です。わたしの心と人生をすばらしく治めてい
ただけるのですから 幸せです。

いの
祈り
天のお父様、イエス様を罪からの救い主
と共に王様としておつかわしくださって
心よりありがとうございます。

12月25日(月)

聖書
聖句

マタイ 2・1～2
私たちはその方の星が昇るのを見
たので、礼拝するために来ました。
2節

教会学校や教会の礼拝に来るのに、あなた
はどれくらい時間がかかりますか？ ゼロ分！
教会に住んでいればね！ 歩いて10分、チャリ
で30分、車で一時間、もっとかけて来る人も
いる？ エライ！ ここに東の方でその星、ユ
ダヤ人の王としてお生れのメシアのしるしを
見て拝みにきた東方の博士さんたちは、何と
一年以上もかけて、はるばるやってきたのでし
た！ 感動ですね。それほどにもその方に会
いたかったのですね！

いの
祈り
天のお父様、博士たちに負けないくらい
教会に励んでしっかりお話しを聞いてイ
エス様とお会いしたいです。

12月26日(火)

聖書
聖句

マタイ 2・3～6
彼らは王に言った。「ユダヤのベツレ
ヘムです」。 5節

「ユダヤ人の王だと?! わたし以外に一体だ
れが王なんだ?!」と、その時の王様ヘロデは考
えて、心が不安になってきました。エルサレム
の人たちも同じく不安に思いました。そこで
学者たちを全部集めて、キリストはどこにうま
れるのかとたずねると、「ユダヤのベツレヘム
です。預言のとおりです」との返事。王だから
宮殿かなと思っ、博士たちはやってきたので
したが、そうではなくベツレヘムだとわかりま
した。

いの
祈り
天のお父様、クリスマスに感謝いたしま
す。イエス様のお誕生の地名までがちゃ
んと預言されていたことに、またまた
感動してしまいます。

12月27日（水）

聖書
聖句

マタイ 2・7～8

行って^い 幼子^{おなご}について詳しく^{くわ} 調べ^{しら}、見^みつけたら知らせてもらいたい。私も^{わたし} 行って^い 拝む^{おが}から。 8節

ヘロデ王^{おう}は、こっそり^{はかせ} 博士^{はかせ}たちを呼んでたずねました。「その星^{ほし}はいったい、いつごろ^{あらわ} 現れたのか？ どのような星^{ほし}だったのか？」などと。そして、博士^{はかせ}たちをベツレヘムに行くようにとつかわしました。エルサレムから8キロばかりです。歩いて^{ある}も2時間^{じかん}もあれば^い 行けます。でもヘロデも^{がくしや} 学者^{がくしや}たちもだ一れもエルサレムから行く^{ひと} 人はありませんでした。「見つけたら知らせ^み くれ、あとから^{おが} 拝^いみに行くから」と。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とうさま}様、ヘロデ王^{おう}も律法^{りっぽう}をよく知^しっている学者^{がくしや}たちも本当^{ほんとう}の礼拝者^{れいはいしや}ではありませんでした。考^{かんが}えさせられます。

12月28日（木）

聖書
聖句

マタイ 2・9～10

その星^{ほし}を見て、彼^{かれ}らはこの上^{うへ}もなく喜^{よろこ}んだ。 10節

さて、博士^{はかせ}たちは…「わかりました、感謝^{かんしや}です、そのようにいたしましょう」と王^{おう}に答えて、「さあ、出発^{しゅつぱつ}だ！ 目指^めすはベツレヘム！」と出かけようとすると！「おお、あの星^{ほし}ではないか」。博士^{はかせ}たちは目を輝^{かがや}かせて、先^{さき}に進^{すす}んでいく星^{ほし}を見ながら、ついて行くと、「お！ 止まった、あの家^{いえ}の上^{うへ}にとどまったぞ」。そうです。幼^{わか}な子^こイエス様のおられる所^{ところ}でした。博士^{はかせ}たちの胸^{むね}はほんとうに喜^{よろこ}びにはち切れそうでした。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とうさま}様、「王^{おう}なる救^{すく}い主^{ぬし}を拝^{おが}める！」と喜^{よろこ}びにあふれた博士^{はかせ}たちのようにわたしも期待^{きたい}に満ちて教会^{きやうかい}にいきます。

12月29日（金）

聖書
聖句

マタイ 2・11

宝^{たから}の箱^{はこ}を開^あけて、黄金^{おうごん}、乳香^{にゅうこう}、没薬^{もつやく}を贈^{おく}り物^{もの}として献^{ささ}げた。 11節

喜^{よろこ}びと感謝^{かんしや}でふるえるような心^{こころ}で、博士^{はかせ}たちは家^{いえ}にはいらせてもらったことでしょう。母^{はは}マリアのそばにいる、まだ2歳^{さい}にもなっていない幼子^{おなご}に会^あいました！ 彼^{かれ}ら、大^{だい}の男^{おとこ}たちが、そんな小^{ちい}さな幼子^{おなご}の前に、ひれ伏^ふして拝^{おが}んだのです。だって、王^{おう}様^{さま}なのですから。また大切^{たいせつ}に持^もってきた宝^{たから}の箱^{はこ}をあけて、イエス様^{さま}にふさわしい贈^{おく}り物^{もの}、黄金^{おうごん}、乳香^{にゅうこう}、没薬^{もつやく}などをささげました。あなたも宝^{たから}をおささげできます？

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とうさま}様、非常^{ひじょう}な喜^{よろこ}びにあふれて王^{おう}なるイエス様^{さま}に会^あい、拝^{おが}み、ささげた博士^{はかせ}にならう礼拝^{れいはい}をささげます。

12月30日（土）

聖書
聖句

マタイ 2・12

彼^{かれ}らは夢^{ゆめ}で、ヘロデのところへ戻^{もど}らないようにと警告^{べつ}されたので、別^{べつ}の道^{みち}から自^じ分の国^{くに}に帰^{かえ}って行^いった。 12節

「じゃ、ヘロデ王^{おう}に知らせにエルサレム^{けいしや}経^{けい}由^ゆで帰^{かえ}るか？」 「いやいや、神^{かみ}様^{さま}は、夢^{ゆめ}でヘロデのところには帰^{かえ}るなと告^つげてくださった。だから、エルサレム^{もど}に帰^{かえ}る必要^{ひつよう}はないよ」。そういうわけで、彼^{かれ}らは神^{かみ}様^{さま}のみ告^つげに從^{したが}って、他^{ほか}のちがう道^{みち}を通^{とお}って、またまた、長^{なが}い長^{なが}い旅路^{たびじ}についたのです。イエス様^{さま}にお会^あいしたら、もう今^{いま}までの古^{ふる}い道^{みち}は歩^{あゆ}まない人^{ひと}になるのです。イエス様^{さま}と共^{とも}に、新^{あた}しい人生^{じんせい}に進^{すす}むのです。

いの
祈り

天^{てん}のお父^{とうさま}様、イエス様^{さま}を私^{わたし}の心^{こころ}に王^{おう}様^{さま}としてお迎^{むか}えします。すべてをご支^し配^{はい}していただく新^{あた}しい人生^{じんせい}を感謝^{かんしや}します。

年末感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

コロサイ 3・15～17

感謝の生活

感謝をもって心から神に向
かって歌いなさい。

コロサイ 3・16

目標

キリストにより感謝と賛美に満
ちた生活をする。

12月31日(日)

聖書
聖句

コロサイ 3・16

感謝をもって心から神に向かって
歌いなさい。 16節

今日で今年が終わっちゃうね！ どんな一年
だった？ うれしいこともいやなこともあった
よね！ 世界ではたくさんの悲しいことが起き
ました。そんな中で、今もこうしてあなたが生
きていること、かわらない毎日をすごせたこと
は、ふしぎなことだよ！

さらに、神様のこともイエス様のことも知ら
ない人がたくさんいるこの世界で、あなたが
神様と出会って、イエス様のことを信じ、永遠
の命をもらっているなら、もっともっと大き
な奇跡だよ。

心から神様に感謝できるね。ありがとう！

祈り

天のお父様、あなたと出会って、イエス
様を信じることでできた奇跡をありが
とうございます！

1月1日(月)

聖書
聖句

コロサイ 3・15

キリストの平和が、あなたがたの
心を支配するようにしなさい。15節

あけましておめでとう！ 今年も神様といっ
つもいっしょにすごせますように！

でも、しょうじき、神様のこと、わすれちゃ
うことがあるんだよね…家族や友だちとケン
カしちゃうときとか、わがままになっちゃうと
きとか…。

でもね、そんなとき、どうか思い出してくだ
さい。「こんなわたしを神様が愛して赦してく
ださったんだ！」「イエス様はこのために
十字架につかれたんだ！」って。それが心
にとどまっている人は、だれかを愛し、赦せる人
へと、変えられていくからね！

祈り

天のお父様、いつもあなたのことが心
にとどまりますように。生き方が変わっ
ていきますように。

1月2日(火)

聖書
聖句

コロサイ 3・15

あなたがたも召されて一つのから
だとなったのです。 15節

教会にくる人たちは、性格も育ったところ
もみんなちがうはずなのに、どこかに似ているな
～と思いませんか？ それはね、みんなの心に
イエス様がいてくださるから！ イエス様に似
ているってことだね！

イエス様に会おう前の人なら、気が合わない
とか、きらいとか言ったかもしれないけど、イ
エス様を信じて、新しい生き方、愛し合う生き
方ができるようになったんだね。

そういう生き方は、教会だけでなく、毎日
の生活の中で、おうちの人に、お友だちにもよ
い影響を与えていって、やがて、また教会に
よるこんで来る人が増えていくのです！

祈り

天のお父様、わたしも、良いえいきよう
を与えられる人になってください。

1月3日(水)

聖書
聖句

コロサイ 3・16

キリストのことばが、あなたがたの
うちに豊かに住むようにしなさい。
16節

学校ではいろんなことを勉強しておぼえる
でしょう？そして、力がついているかどうか
は、テストをすればよくわかるよね！？

イエス様のような生き方、ステキ！でもど
うやったらいいの？っていう人。聖書からた
くさん力をもらってますか？あなたの心の
中にイエス様の言葉、残っていますか？

人は、いちばん影響をうけたものが生き方
に出てくると思うよ。つまり、生き方や考え
方を見れば、その人がなにに影響されている
か、わかるってこと！

イエス様の影響、受けようよ！

いの
祈り

天のお父様、イエス様の言葉をたくさん
おぼえて生きていきたいです。

1月4日(木)

聖書
聖句

コロサイ 3・16

知恵を尽くして互いに教え、忠告
し合い、詩と賛美と霊の歌により、
感謝をもって心から神に向かって
歌いなさい。
16節

教会に行くとき、心の中は？あ〜今日も
教会かあ、まあいいか…なんて思っていない？

教会に行くのが毎週になると、なんだかさ
いしょはうれしくて楽しかったのに、いつのま
にかそんな気持ちが少なくなっちゃうことも
あるかもしれないね。

感謝の気持ちが、さいきんちょっと？と思っ
た人。紙の上に、神様に感謝したいことを書き
出してみよう。きっとたくさん出てくるよ！

そして、よろこんで神様を礼拝しよう！

いの
祈り

天のお父様、たくさんの感謝を思い出し
て、よろこんで礼拝できますように。

1月5日(金)

聖書
聖句

コロサイ 3・16

知恵を尽くして互いに教え、忠告
し合い、詩と賛美と霊の歌により、
感謝をもって心から神に向かって
歌いなさい。
16節

あなたの行っている教会はどんなところだ
るか？みんなよろこんで来ているかな？
聖書のお話を心から聞いているかな？いっ
しょにお祈りしてるかな？あなたの良いお手
本になっているかな？よく見てみて。

でも人間だから、問題だってないわけじゃな
いよね。だけど、教会は、みんないっしょの
信仰、いっしょの思いになって成長できるか
ら、すばらしい！と思うのです。

神様に喜ばれる教会、みんなが感謝できる
教会であってほしいね！

いの
祈り

天のお父様、みんないっしょに成長で
きる教会でありますように。

1月6日(土)

聖書
聖句

コロサイ 3・17

主イエスによって父なる神に感謝
し、すべてを主イエスの名において
行いなさい。
17節

AかBか、まよったときどうする？ふつうな
ら、自分が得をするほうをえらんでしまうよね。

だけどね、AかBかをえらぶときに「イエス
様ならどうするだろう？」ということをつつも
考えると、今までとちがってくるよ。

だって、イエス様はいつも神様のため、弱っ
ている人や病気の人のため、罪人のためにすべ
てのことをえらぶことのできるお方なもの。

あなたがイエス様に従ったあとの、神様か
らの祝福はどれほど大きいでしょう！

いの
祈り

天のお父様、イエス様に従って、もっ
とあなたのすばらしい祝福を体験でき
ますように！